

どろ遊び ~没頭する楽しさ~ R6.6.21

小さな穴やコップ一杯から始まっていき次第に園庭全体へ。気温が上がりダイナミックになっていく泥遊びの様子です。感触を楽しみ水や泥の変化に気付くと両手を広げた範囲から遊びが広がっていきます。子ども達が歩く道、水が流れる所十人十色の楽しさを身体いっぱい使い楽しんでいます。

どろだんごならべるよ~



きもちいい~!



ここさわってみて?

始めはあまり汚れたくないと思っていても楽しくなってくると気にならなくなり手足から全身泥だらけになると気持ちも開放されていきます。水の流れを見て追いかけている子ども達は自分が流れているような感覚になり気付きや思い付きを周囲のこと共有しながら次々に創造性が溢れて遊びが展開されています。

やわらかくなってきた!



ほって、どろいっぱいにしよ~



もっとみずながす?



ふねのしたにながれてる!

かわになってる~

どろぼくだんだ~!



いけ~!

全身泥だらけになり時間も忘れて遊ぶ姿はこの時期にしかできないことだと思います。ふとした時に寒さや疲れを感じたり空腹を感じ入室することもあります。遊びからたくさんことに気付き、積み重ねた経験から遊びを広げたり遊びたい気持ちを自分で抑えたりと目の前のことから先のことへ見通しを持ち考える姿へ繋がっていくのだと思うので今は一緒に楽しいことに没頭していきたいと思っています。